

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 中平 知宏さん(遠野市)

取材担当 中部農業改良普及センター 遠野普及サブセンター 田中真衣

遠野市で令和4年に経営継承し、ながいも 60a、ねぎ 25a、スイートコーン 40a、ごぼう 30a、加工用トマト 70a など土地利用型野菜を中心に経営している中平知宏さんを紹介します。

中平さんは平成 29 年に岩手県立農業大学校を卒業後、さらに岩手町にある農業生産法人で2年間研修をして技術を磨き、地元に戻ってきました。中平さんの実家は代々農家ですが、主戦力である祖父母の体が弱くなってきたことを感じて、自分が経営者になることを決意しました。

中平さんは令和4年度、担い手育成特定資産事業「新規就農スタートアップ支援事業」を活用し、「肥料散布機」とながいもの収穫時に使用する「つる巻き機」を購入しました。それまでは約2haの圃場に背負い式で合計100袋の追肥をしていましたが、肥料散布機の導入により、体力的にも時間的にも省力化できたとのこと。

実家に戻ってから2年目、ながいもの生育が悪くなったことを機に有機質肥料に切り替えたところ、生育が良くなり、土づくりの重要性を改めて認識したそうです。

「こだわりを理解してくれる人に届けたい」と贈答や独自販路の開拓に意欲を見せています。



ねぎの追肥中